



# ほたるびたより

Vol.12



季節の  
**薔薇とお茶の会**

色とりどりのバラに囲まれて  
ゆったりとしたひと時をすごしませんか  
薔薇の専門家の解説を聞きながら園内を  
散策し、その後はお抹茶と和菓子を  
お楽しみいただきます。



5月17日(日)  
11:00~  
(10:00より入場可)

会場:野田ほたる  
ローズガーデン

参加料無料  
申し込み不要

お気軽に  
お越しください

- 美味しいお弁当やグッズの販売あります
- バラの鉢植えプレゼント(先着順)もあります
- SNS フォロー&アップで嬉しいプレゼントも



## 今月の位職のことば 行住坐臥ぎょうじゅうざがが

「端午の節句」  
節句とは年に24節あり、代表的なのは、新年で家族が集まり食する「お節(おせち)」となるが、本来は節ごとに供え、祀ることが主とされた。

5月5日は男の子の健やかな成長を祝う別名「菖蒲の節句」。五月人形を飾り、災厄を避けるため菖蒲湯に入り、柏餅やチマキを食べて祝う。

その由来は、中国の厄除の風習が起源とされ、菖蒲を尚武(武道を尊ぶ)にかけて、武家から支持されて定着した。

五月人形は災厄の身代わりとして飾られ、刀などは魔を祓うと信仰されてきた。鯉のぼりは鯉が滝を登り、龍となつた故事(登竜門)に由来して、成長と出世を願うことになつた。菖蒲湯は、菖蒲の強い匂いが邪気を祓うと信じられ、柏餅は縁起物で、チマキは邪気を祓うと信仰されてきた。

正恵寺では年間を通してお子さまの厄除祈願、交通安全、学業成就の祈禱と人形供養を受け付けております。お気軽にお声掛けください。 **合掌**

「回忌(かいき)」とは、故人さまが満ちた区切りとして、特別に「一月の祥月命日(亡くなった月日と同じ月日)に冥福を祈り、供養を行う節年、つまり、亡くなって二年目の目のことを言います。皆さんは法事を行ったときなどに「一年目は法事を行つたときなどに「一年目は一周忌なのに、どうして二年目が三回忌なの?」と不思議に思ったことはありませんか?」

実は、仏教では亡くなった当日を「一回目のお誕生日」として数え始めます。つまり、亡くなったその日、つまり、一年後の「二回目のお誕生日」は、喪に服す期間、二人三脚の歩みのようですね。

意味する大切な数字。回忌を重ねると「三回目のお誕生日」からは、本来の忌となるんですよ。

三や七は仏教でひとつの区切りを意味する大切な数字。回忌を重ねると「三回目のお誕生日」からは、本来の忌となるんですよ。

教えて!ほたるちゃん  
**回忌(かいき)って何?**





# Special 座談会 2

## 三人の僧が語る、仏教の今とこれから 供養のかたち～変わる時代の中で

第一回の座談会では、それぞれが僧になったきっかけや、僧としての歩みの始まりについて語っていた。第二回の今回は、テーマを「供養」に移してのお話です。時代とともに変わりゆく供養のかたちや、その意味について、三人の僧がそれぞれの思いを語ります。

### 残された人の心のケアも 供養なんじゃないか

**I 住職** 平安初期、一般の人は村の莊園墓地のようなところに遺体を置いて、手を合わせるだけでした。その頃の供養って、身体から抜けた「魂（たま）」を浄化することを目的としていたんです。今はきれいなイメージで魂（たましい）と言われますが、本来「魂（たま）」は悪きをする暴れん坊なんです。それを落ち着かせるために供養をしていました。戦国時代から江戸の初期にかけて家督というものが生まれて、「〇〇家」という墓ができます。そこに納めるようになってから、お墓参りが生まれたんです。近代になってから遺影やお位牌を見て故人を偲ぶという、今の供養の仕方になってきています。かたちは変わってきましたが、見える、見えないではなくて、信じて「魂（たま）」を供養するのが、我々僧侶の本分だと僕は思います。

**T 住職** 僕も最初は、亡くなられた

方を拝みたいという気持ちでやっていましたが、学んでいく中で、暴れん坊の「魂（たま）」を鎮めないといけないんだという風が変わってきました。「供養とはなかなか奥が深いな」と思いましたね。見えないものにはあるけれど、「魂（たま）」を供養しなければいけない。自分が拝むことによって浄化されるんだという気持ちが強くなってきましたね。

**梅村** 供養という字は、「人と共に養う」って書くじゃないですか。結局、供養って亡くなった方のためはもちろんです。残された人たちの心のケアをするものでもあるんじゃないかと最近思っています。大切な人が亡くなったら、みんな悲しいじゃないですか。でも残った人たちは頑張らないといけない。そこで自分たちは何を語るんだというのを考えなければいけないと思う。何もしなければ、自分たちは忘れられてしまうし、世の中は楽な方へ簡単な方へと流れてしまう。供養というものがなぜ必要なのか、どういう風にしてあげればいいのかを、自分たちが説いていかないと、未来に繋がっていかないと考えています。

### 「なんとなく」から、 「ちゃんと送ってあげた」へ

**I 住職** 家族観や死生観も、最近は強く変わってきていますね。今まで徐々にだったものが、戦後で大きく

変わりました。今は昔みたいな極端な貧困はそこまでないですし、生涯独身で過ごす方も、どこかで誰かと繋がっているし、誰かが救ってくれる環境にはあると思います。

**T 住職** 家族のあり方と弔いの形は、これからもっと変わっていくと思います。墓じまいをされる方も増えていきますし、供養ももっと身近なものになっていくのではないのでしょうか。お骨をダイヤモンドにして身に着けるとか、そばで供養ができる形を求めている方が多いと感じています。今は葬儀の形もいろいろありますが、それでも多くの人が仏式で行います。「人が亡くなったなら、なんとなくお坊さんを呼ぶよね」という感覚があるからだと思うんです。だからこそ、自分一つ一つの意味をきちんと伝えていく。「なんとなく」から「ちゃんと送ってあげられた」と思えるものにしていくことが大事だと思います。

【次号へ続きます】



### 5月の開運日

◎一粒万倍日(いちりゅうまんばいび)…この日にまいた粉(もみ)は万倍にもなって実るとされています。新しく物事を始めるのに最良の日。

2日・5日・6日・17日・18日・29日・30日

◎寅の日(とらのひ)…虎の体毛が金色であることから、金運アップが期待できる日。旅行の出発日にも良いとされています。

4日・16日・28日

◎巳の日(みのひ)…財運の吉日。財布の購入におすすめです。

7日・19日・31日

◎鬼宿日(きしゆくにち)…「鬼が外の宿に泊まる日」とされ、何事にも良い日とされています。長寿を祝うのに最適。22日

正恵寺では \*葬儀\*法事\*各種ご祈禱  
\*ペット葬儀\*ペット供養\*本堂・お茶室の  
レンタルスペースの相談を受け付けてお  
ります。お気軽にお電話、ご来園ください。

正恵寺・野田ほたるローズガーデン  
住所:千葉県野田市船形 620  
電話番号:04-7196-6205



ホームページ



インスタグラム



X

